

Part 1 基本情報

1.ヨルダンプロフィール

- (1) 正式名称 (和文)ヨルダン・ハシェミット王国
(英文)Hashemite Kingdom of Jordan
- (2) 独立年月日 1946年5月25日
- (3) 旧宗主国 英国(委任統治)
- (4) 政体 立憲君主制
- (5) 元首 アブドゥラー2世・イブン・アル・フセイン国王(King Abdullah II Ibn Al Hussein)
- (6) 位置 北緯29～33度、東経87度44分～119度56分
- (7) 面積 9万8000平方 km(ヨルダン川西岸地域を除く)
- (8) 首都 アンマン
- (9) 総人口 611万人。アンマン市は236万7000人。(10年統計局推定)
- (10) 民族 パレスチナ人(約7割)、ベドウィン系ヨルダン人
- (11) 公用語 アラビア語
- (12) 宗教 イスラム教(国教)93%(スンニ派90%以上)、キリスト教7%
- (13) 国土の概要 ヨルダンは北緯29～33度、東経35～39度に位置し、その面積は9万8000km²である北側をシリア、南側をサウディ・アラビア、東側をイラク、そして西側をイスラエルとそれぞれ国境を接している。地勢は大別して、西部の南北に走る山岳地帯と東部の平坦な砂漠地帯に分かれ、国土の80%以上が砂漠または荒地である。海への出口は南方のアカバ湾に面する15kmの海岸線だけである。首都アンマンは西部山岳部の北部中央の起伏に富んだ丘陵地帯に位置する。山岳部の西部はヨルダン・バレーと呼ばれる深い渓谷で、その底部をヨルダン川が流れている。この川の流域は肥沃な農業地帯で、ヨルダン農業の中心地でもある。ヨルダン川はイスラエルの水瓶であるティベリウス湖を水源とし、北から南に流れ死海に注いでいる。死海は世界で一番低いところにある湖(塩湖)として知られ、湖面は海拔マイナス400mで深さは396mに達する。
- (14) 気候 夏期は5月から10月で最高気温が40度を超すこともあるが、一般的に空気が乾燥しているので暑さはそれほど感じない。冬期は12月から2月で、風が冷たく、雨がよく降り雪が降ることもあり、最低気温は氷点下まで下がることもある。春(3、4月)および秋(11月)は最も気候のよい時期である。アンマンは高地かつ内陸にあるため、朝夕の気温の変化が大きく、夏でも夕方からは冷たい風が吹くこともある。またヨルダン・バレーと南部は、冬は暖かいが夏は酷暑となり、最高気温は50度まで上がることもある。
年間平均雨量は山岳部で400mm、ヨルダン・バレーは200mm、また砂漠部では10月から4月の雨期にのみ降り、夏は乾期でまったく降雨はなく、50mm以下である。
- (15) 略史 7世紀イスラム諸王朝の支配を受ける。16世紀オスマン・トルコ帝国の支配下に入る。第1次世界大戦後、トルコの支配を脱し英国の委任統治領となる。1923年英国支援の下、シャリーフ・フセイン長子アブドゥラーがヨルダン川東岸にトランスヨルダン首長国を建国。1950年東エルサレムを含むヨルダン川西岸地域を占領して自国に編入。同年国名をヨルダン・ハシェミット王国と改称。1967年第3次中東戦争でイスラエルに西岸と東エルサレムを占領される。1988年西岸の統治権を放棄。
- (16) 民族 ヨルダン国民の大部分はアラブ人で、そのうち約7割はパレスチナ系である。人種的には砂漠の遊牧民を除いて、数千年来この地域に居住していた地中海人種との混血が多く、その他ギリシャ人、エジプト人、ペルシャ人、ヨーロッパ人、黒人などの混血も含まれて

いる。また、19世紀以降ロシア帝国のコーカサス地方から移住してきた教徒のサーカシア人やアルメニア人も少数いる。

(17) 言語 ヨルダンの公用語はアラビア語(セム語系)である。都市部においては一部で英語も話される。またヨルダン川西岸ではヘブライ語(セム語系)も話されている。

(18) 宗教 憲法でイスラム教を国教と規定しているが、同時にある程度宗教の自由も保障されている。国民の93%がイスラム教徒で、7%はキリスト教徒(ギリシア正教、ローマカトリック、プロテスタント)といわれる。イスラム教徒のうち90%以上はスンニ派で、少数ながらドルーズやシーア派もいる。

[参考]「外務省ホームページ-各国・地域情勢-」外務省

2.業務のための基礎データ

(1) JICA事務所の概要(ヨルダン事務所)

住所 : Foutain Plaza, Abdel Rahim Haj-Mohammad Street, Sweifieh, Amman, Jordan

郵便物宛先 : P.O.Box 926355, Amman 11190, Jordan

連絡先 : 国番号 : 962

市外局番 : 06

電話 : +962-6-5858921 ~ 3

FAX : +962-6-5858924

執務時間 : 8:30 ~ 16:45(昼休み12:15 ~ 13:00)

休日 : 下記祝日と金曜日、土曜日。

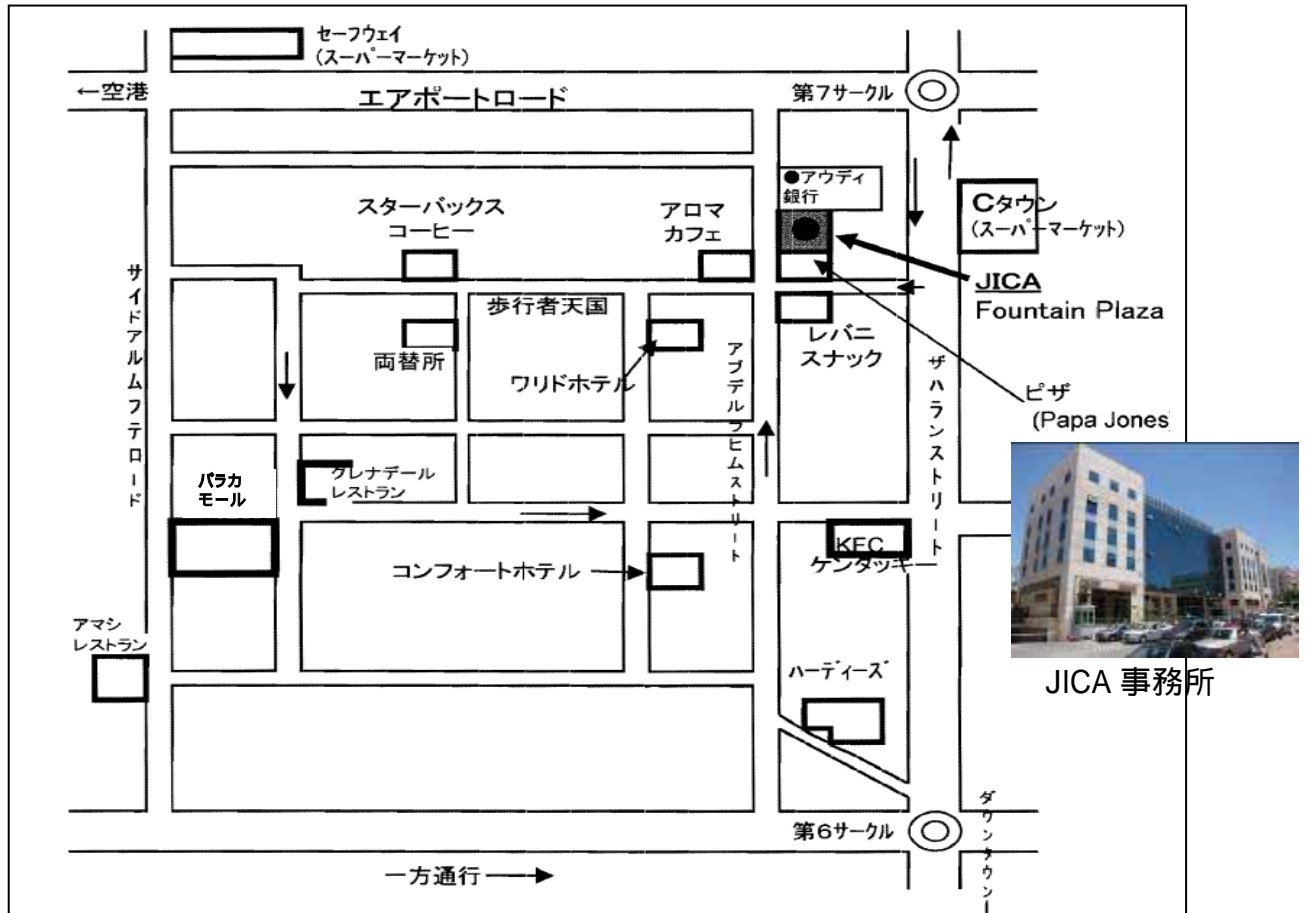
1月2日	年始休暇	(日)
2月15日	預言者生誕祭	(ヨ)
3月21日	春分の日	(日)
4月24日	イースター	(ヨ)
5月 1日	レイバーデー	(ヨ)
5月25日	独立記念日	(ヨ)
7月18日	海の日	(日)
8月30日 ~ 9月1日	ラマダン明け祭	(ヨ)
9月19日	敬老の日	(日)
10月10日	体育の日	(日)
11月6日 ~ 11月9日	犠牲祭	(ヨ)
12月7日	イスラム暦新年	(ヨ)
12月25日	クリスマス	(ヨ)

(2011年)

注:(日) - 日本の休日、(ヨ) - ヨルダンの休日

当国のラマダン(断食月)は2011年は8月1日から始まり8月29日に終わるが(月の満ち欠けを観察して決められるため、変わることがある)、その後9月3日までラマダン明け祭りの休日に入り、この間は一般に官公庁等の事務処理機能が停滞する。調査団派遣にはこの時期慎重な配慮が必要である。なお、ラマダン期間は毎年約10日ずつ早まる。

(2) JICA事務所周辺地図



- (3) 日本との時差、サマータイム
 日本との時差 : - 7時間
 サマータイム : 例年4月～10月に実施。政府決定により多少前後する。この間の日本との時差は - 6時間。2011年は4月～10月まで。
- (4) 祝日、
 祝日 : 上記「(1) 休日」を参照。
 官公庁の休日 : 上記祝日と金曜日、土曜日。
- (5) ビジネスアワー
 執務時間は土～木曜日の8:00～14:00(ラマダン中は9:30～14:00)で、金曜日は休みである。
- (6) 言語
 業務 : アンマンや大都市では英語が通用する。
 ホテル、買い物、食事 : ホテルや高級レストラン、スーパーマーケットでは英語が通用するが、小規模な商店ではアラビア語となる。
- (7) 通貨
 ヨルダン・ディナール(Jordan Dinar: JD)
- (8) 通貨レート
 US\$ 1 = JD 0.708(2011年)
- (9) 関係機関
 【在外日本関係機関】
 ● 日本大使館
 所在地: Between 5th and 6th Circles, Ibn Al-Furat Street, Zaharn Area, Basin No.21 Southern Um Utheinah, Amman, Jordan

TEL: 962-6-5932005、5930428

FAX: 962-6-5931006

執務時間: 日～木曜日、8:00～16:00、金・土曜日は休み

【ヨルダンの関係官公庁】

JICAの窓口は、ヨルダン計画国際協力省

- Ministry of Agriculture
所在地: University Street
URL: <http://www.moa.gov.jo/>
- Ministry of Education
所在地: Abdali
URL: <http://www.moe.gov.jo/>
- Ministry of Energy and Mineral Resources
所在地: Sweifieh
URL: <http://www.memr.gov.jo/>
- Ministry of Environment
所在地: Um Utheina
URL: <http://www.moenv.gov.jo/>
- Ministry of Health
所在地: Tabarbour
URL: <http://www.moh.gov.jo/>
- Ministry of Pubic Works & Housing
所在地: 8th Circle
- Ministry of Labor
所在地: Sweifieh
- Ministry of Planning and International Cooperation
所在地: Jabal Amman
URL: <http://www.mop.gov.jo/>
- Ministry of Social Development
所在地: Al-Madeenah Al-Riyadiyah
- Ministry of Tourism and Antiquities
所在地: Jabal Amman
- Ministry of Industry and Trade
所在地: Abdali
- Ministry of Water and Irrigation
所在地: Shmeisani
URL: <http://www.mwi.gov.jo/>
- Ministry of Youth & Sports
所在地: University Street

(10) 有用サイト

<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/jo.html>

(The World Fact Book)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/jordan/index.html>

(外務省ホームページ - 各国地域情勢 -)

Part 2 生活情報

「生活情報」は特に記載のない限り、JICA事務所のある都市の情報を中心に掲載しています。

1. ホテル、住宅



1-1 ホテル

高級、中級ホテルでは英語が通じる。春から秋にかけては湾岸地域からの避暑を始め、国際会議や国際展示会が行われることもあり宿泊直前日の予約ではが部屋が確保できないことが多い。特に死海やアカバ等観光地の高級ホテルは週末込み合うため注意が必要である。料金についてもシーズン、週末などで変動するためその都度問い合わせが必要。支払いはJD払いが一般的である。中高級ホテルはクレジットカードが利用できる。

主なホテルは以下のとおり。

- ・Le Royal (ロイヤル)
- ・Kempinski (ケンピンスキー)
- ・Crown Plaza (クラウンプラザ)
- ・Le Meridien (メリディアン)
- ・Al-Waleed Hotel (ワリードホテル)
- ・Century Park (センチュリーパーク)
- ・Amman Cham Palace(シャムパレス)
- ・Geneva Hotel (ジェネバ)

ワリードホテル、ジェネバホテルなどは、部屋のサイズもビジネスホテル並み。JICA事務所から歩いて10分以内の距離に位置している。

2週間以上滞在する場合は、簡単な自炊設備のある以下のホテルが便利である。

- ・Comfort Hotel (コンフォート)
- ・Al-Farouq Hotel (ファルーク)
- ・Ibn Khaldoun Residence (イブンカルドーン)



ロイヤルホテル



ケンピンスキーホテル



ジェネバホテル



ワリードホテル

1-2 住宅事情

日本人の多くは、アンマン西部のウムゼイナ、アブドゥーン、ディヤゴバール地区に居住している。いずれも高級住宅街である。一軒家は一般的ではなく(高額な家賃を支払えれば別であるが)、アパートメントを探すことになる。

アパート1戸の面積は100～150平方mの世帯向けである。平均的には2～3

LDKで地上階(GF)から、1～3階までエレベーターを中央に8世帯からなる共同住宅の造りである。地下には、各世帯1台分の駐車場がある。一人用のアパートメントは一般的ではなく、アンマンではヨルダン大学周辺に学生向けのものがある程度である。

アンマンにおいては家具付の住居を探することができる。本来家具付の住居は一般的ではないことから、地方においては交渉によって家具なしの住居に家具を入れてもらうことになる。

家賃は地域、面積、居住する階、家具の質による。日本人の多くが居住する上記エリアは新興住宅地であるが、新築の住居は水周りなどのトラブルが出るケースもあり、一概に良し悪しを決めることはできない。支払いは1年間先払いが一般的であるが、交渉次第で契約時に2～3ヶ月分前払いした後は月払いにしてくれる家主もいる。アンマンでの家賃は12,000～30,000US\$ / 年となっている。

1-3 住宅の探し方

アンマンには不動産会社があり、不動産会社を通すか、知人から家主を紹介してもらい、物件を見て交渉に入る。不動産会社を通した場合は、年間契約金額の5%を手数料として不動産会社に支払うことが多い。地方の場合は知人の紹介がほとんどとなる。

1-4 住宅選定上の留意点

- ・治安がよい地域であること。
- ・最上階は夏暑く、冬寒いので避けた方が無難。
- ・週に1回もしくは2回しか水道に水が来ないため、貯水タンクの容量が十分にあること。
- ・利用できる公共交通機関が存在する。
- ・大家の人柄。アンマンにおいては英語のできる家主を選ぶと生活が楽である。

一時期住居契約については、トラブルが続いていた。いい家主を選ぶことが重要である。

1-5 住宅の契約

一般的には契約期間は1年間で、支払いは前払い。途中で転居しても払い戻されることはない。しかし契約期間と支払方法は家主と交渉することができ、支払いは月払いにすることを推奨している。

玄関鍵の交換、ドアののぞき穴、窓の鉄格子、冬に必要となるストーブなど、必要なものは契約前に合意し、契約書に別紙をつけておくことが望ましい。また家主に用意してもらうものは入居前に揃えてもらうことが望ましい。入居してしまうと家主の対応が遅くなる傾向がある。

また、大家が英語ができない場合は、アラビア語と英語を十分理解する人物に立ち会ってもらう必要がある。

またドアマン(管理人)がいるアパートの場合は、費用は共同負担であり、毎月JD15～25を直接ドアマンに支払うことになる。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

光熱水費等の公共料金はすべて借主負担である。

ガスはプロパンガスを業者から購入する。現在1本JD6程度。値段は地域や居住する階によっても異なる。このガスは台所のガスやストーブにも使われ、ヨルダンでは一般的である。

高級な住宅ではディーゼルを利用したセントラルヒーティングが設置されている。しかし昨今のディーゼルの値上がりにより、暖房として利用するのは経済的に負担が大きくなっている。また、給湯設備は、電気、ディーゼル、ソーラーパネルのいずれかが各住宅に設置されている。

水道は3ヶ月分まとめて請求書が届き、水道会社で支払いを行う。住居によっては有料でドアマンに支払いを頼むこともできるし、家主に支払い、家主がまとめて支払ってくれるケースもある。

電気は毎月請求書が届き、電気会社で支払いを行う。支払方法は水道のケースと同様。

1-7 家電

(1) 電圧

電圧は220V、周波数は50Hz。変圧器、安定器、無停電電源装置ともに現地で入手可能。

(2) コンセント、モジュージャックの形

コンセントはBタイプ(丸型2ピン)とBFタイプ(角型3ピン)が使われている。

モジュージャックは日本と同様。



B F タイプ



B タイプ



1-8 家具保険

火災保険は存在する。しかし一般的ではないのが現状。

1-9 その他

該当事項なし。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

アンマンの気候は、夏に相当する乾期4～9月と、秋・冬および春に相当する雨期10～3月にははっきりと分かれる。夏(乾期)は最高気温が40℃を超えることもあるが、湿度が低いためしめぎやすく、夜になると肌寒さを感じるほど気温が下がることがある。一方、冬には雨が降り、雪を見ることも数回あるが、東京に比べて日中はかなり暖かく、秋は非常に短い。春も短いながら草花が咲き乱れ最もよい季節である。このように、アンマンには日本と同様に四季があるので、東京を基準にしてオールシーズンの衣料を準備する必要がある。冬期には、セーターや、厚手の外套が必要で、マフラーやニット帽子なども着用されている。

衣料品は豊富に出回っているが、一般的に品質はよいとはいえない。また、希望のデザインやサイズを見つけるのも容易ではない。また、ほとんどが輸入品であり、価格は高めである。こだわらなければ当地での購入、仕立ては可能であるが、当地では不足分を補給する程度にとどめ、滞在期間中必要だと思われる衣料は日本から持参したほうがよい。持参するのは普段使っているもので十分である。

女性のノースリーブ、ひざ上丈のスカート、ショートパンツなどは一部のリゾート地やホテルの中を除いて着用しない方がよい。男性のノースリーブ、ショートパンツ姿も歓迎されるものではない。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

女性はストッキング、下着は持参することを勧める。

子供には洗濯可能な夏用帽子、浴衣(インターナショナルスクールで必要)、乳幼児にはおむつカバー、布おむつ(紙おむつは豊富にある)を持参する必要がある。そのほか、履物類やスリッパなども持参したほうがよい。

(3) 現地で調達したほうがよい衣料

該当情報なし。

(4) その他の留意点

雨対策として、雨がっぱ(特に子供用)やこうもり傘(折りたたみ式)を持参するとよい。また、軍手があれば重宝する。綿100%の衣類は非常に少ないため、化繊に過敏な人は注意が必要である。

2-2 礼装

(1) パーティー

男性は濃紺のスーツ、またはそれに準ずるものがあれば十分間に合う。

女性は一般的なフォーマルウエアで十分だが、季節ごとに用意するのが望ましい。

(2) 式典

日本の祝祭日、任国の祝祭日、配属機関の行事などに出席する場合も、パーティーと同様でよい。

(3) 冠婚葬祭

場合によるが男性はダークスーツ、女性は黒のワンピースがあるとよい。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

クリーニング店があり、ドライクリーニングは一般的に行われている。ズボンやスーツは前日に預ければ、翌日には仕上げられる。洗濯にはかなり強い漂白剤を使っており、純毛のセーターが縮んでしまうこともあるので、注意を要する。また、紛失することがあるが、その場合の補償は預けた衣料の価値にかかわらず洗濯代金の3倍程度であることを承知しておくこと(サインする契約書にも記述されており、紛失した場合もこれを示される)。しかし、万一紛失された場合は諦めずに交渉するべきである。通常、家具付き住宅にはアイロン、電気洗濯機などが付いているので持参する必要はない。

(2) 仕立て、修繕

紳士服、婦人服の仕立て・修繕店があるが、技術の差は大きい。知人などに評判のよい店を確かめるとよい。

(3) 保管

ウールや絹製品、革製品などは念入りな防虫対策が必要である。防虫剤の入手は容易であるが、日本のような紙に包まれた製品は見当たらない。アンマンでは湿度が低くカビの心配はあまりない。

2-4 美容院、理髪店

美容院は、アンマンならば市内のサロンを利用することができる。料金はカット、シャンプー、ブローで20JD程度である。技術に対する評価は、人によりまちまちである。一般に、細やかな心配りを期待するのはむずかしい。また、言葉がうまく通じないので希望のスタイルが伝わりにくい。当地に長く滞在している人や経験者に、信頼できる美容院を聞くのがよい。

理髪店はあまり丁寧とはいえないが、スピードは速く十分実用的である。料金はカットで7JD前後である。髭剃りやシャンプーのサービスはないのが一般的である。か

みそりは刃を付け替えるのが普通で、滅菌処理などは行われていない。髪形は要求どおりの仕上げを希望する場合には、細かに注文を出す必要がある。家庭で理髪をする場合は、理髪用ハサミを持参すると便利である。

化粧品、整髪料などは欧米の種々の製品が入手できる。剃刀については、シック、ジレット、ウィルキンソン、フェザーなどの製品が容易に入手できる。電気シェーバーはブラウン(ドイツ製)などの製品が市販されている。愛用しているものがあれば日本から持参したほうがよい。

3. チップ



3-1 チップ事情

(1) 習慣の有無

チップの習慣はある。

(2) 各種サービスに対するチップ

ケースによって異なるが、およそ5～10%。

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

アンマンにはかなりの数のレストランがある。

バー、スナックなどはホテル内のものが利用できる。喫茶店も多い。

ファストフードは外国資本のものが入っている。ローカルのファストフードとしてはサンドイッチ店が多数あり、ファラーフェルサンドイッチ(ひよこ豆をすりつぶして揚げたコロケ)、シュワルマ(鶏や羊の肉を挟んだもの)などが利用できる。

アルコールについては、イスラム圏ではあるが、大きなホテルにはたいていバーやパブがあり利用できる。レストランでは少数ではあるが提供している店がある。

レストランの営業時間は、通常、昼食が12:30～15:30、夕食は19:30～22:30である。官庁や会社の勤務時間の関係で昼食は13:00以降にとるのが一般的で、また、昼食が3食のうちのメインであるのが特徴である。

料金には税金16%とサービス料10%が加算されるが、サービス料がついていない場合もある。請求書をよく見て、サービス料が含まれていない場合はチップをおくのが一般的である(ただし個人の判断による)。

(2) 飲食店

レストランは、アラブ、中華、イタリアン、フレンチ、インド、韓国、日本などがある。また高級ホテル内には、アジア料理やメキシコ料理のレストランもある。水タバコができる喫茶店もある一方、ケーキを食べられるカフェ、スターバックスもある。

外国資本のファストフードには、マクドナルド、バーガーキング、ハーディーズ、



ケンタッキーフライドチキン、ポパイなどがある。

詳細は巻末イエローページを参照のこと。

4-2 食料

(1) 一般事情

米、野菜、果物、肉類、乳製品は種類、量ともに豊富。輸入食品もそろっている。特にスーパーマーケットでは各種食品が豊富にそろっている。

(2) 主な食品の出回り状況

<米>

日本米は出回っていないが、エジプト米、カリフォルニア米(ジャポニカ種)が安価で入手できる。もち米も時々入手できる(タイ産)。

<パン類>

ローカルのホブス(イースト発酵させないで焼いたパン)やいろいろなパンを購入可能。スーパーマーケットではバゲットやクロワッサンも売っている。またドーナツはとてもポピュラーである。

<麺類など>

パスタ、中国製やアジア製のインスタントラーメンは豊富。ドライイースト、コーンスターチも入手可能。また一部スーパーマーケットでは米麺も入手可能。

<肉類>

牛肉、羊肉、鶏肉があり、アンマンでは専門の店において豚肉、豚ハムも入手できる。高級スーパーマーケットでは生ハムも入手できる。

<乳製品>

牛乳はロングライフ、生乳ともに入手可能。ヨーグルト、バター、チーズ、コンデンスミルクも豊富。チーズは種類も豊富。飲むヨーグルトは塩入りと塩なしがある。

<野菜>

季節によって種類が少ないときもあるが、一般的に野菜は豊富。春にはシュンギク、冬には白菜、大根も入手可能。ゴボウとニラは入手できない。

<果物>

季節によって並んでいるものは違うが、種類、量ともに豊富。オレンジ、イチゴ、チェリー、ブドウ、スイカ、メロン、ザクロ、イチジク、グレープフルーツなど。

<魚介類>

アンマンは内陸であり、種類は少ないが、鮮魚冷凍ともに入手可能。ただし鮮度は確認する必要がある。タイ、スズキ、サーモン、マグロ、エビ、タコ、イカ、カニなどがある。価格は全般的に高い。

<調味料>

砂糖、塩、米酢、醤油、胡椒、マヨネーズ、ケチャップ、ステーキソース、オイスターソース、ナムプラー、ジャム、ピーナツバターなどが入手可能。スパイスも各

種そろっている。

<油>

オリーブオイル、サラダ油(コーン、サンフラワー)、胡麻油、グレープシード油、キャノーラ油は入手可能。特にオリーブオイルは良質な現地産が購入できる。

<嗜好品>

アンマンでは、酒屋でビール、ワイン、スコッチ、ブランデー、アラック等何でも手に入るが、高税率のため値段は高い。また一部酒屋では日本酒、梅酒を置いていることもある。

タバコは欧米銘柄のタバコが入手可能。

ほとんどが輸入物であるが、インスタントコーヒー、コーヒー豆、紅茶、中国茶(緑茶、ジャスミン茶)が入手可能。

<飲料水>

水道水の質はいいが、水質は硬く、また貯蔵タンクが清潔とは限らないので、煮沸して飲むことが望ましい。もしくはミネラルウォーターを利用する。ミネラルウォーターは豊富な銘柄がそろっている。ペリエ等の炭酸水も入手可能。

<菓子類>

アラブ菓子は豊富で安価。ただしかなり甘い。洋菓子もだいたい一般的になってきている。アンマンではドーナツ屋がポピュラーである。スーパーではポテトチップス、ビスケット、クッキー、チョコレート、ナッツ類が入手できる。

<輸入食品>

一部スーパーマーケットでは高価であるが、わさび、海苔、味噌、乾燥椎茸、煮干し、中華麺、米麺、梅酢、葛などを購入できる。

もち、豆板醤、料理酒、日本のカレールー、七味、日本茶、こんにゃくなどは入手できない。

2010年4月、JICA事務所付近に韓国食材店兼レストランがオープンし、キムチ、インスタント食品、缶詰、冷凍食品、調味料等(コチュジャン、粉末だしの素、みりん)が容易に入手できるようになった。

(3) 食料の入手

一般的な肉や野菜ならば、ダウンタウンの市場が最も安価で鮮度もよい。アンマン市内にはC-Town、Safeway、カルフルー、Cozmo、Milesなどのスーパーマーケットがありほとんどの日本人が利用している。輸入食品を扱う専門店はないが、第7サークル近くのスーパーマーケットCozmoが最も多くの日本食品を見かける。

4-3 食器、調理器具

(1) 食器、調理器具などの入手

和食器、和食用調理器具を除き、たいいていのは購入可能。現地で割り箸と中華箸は入手可能。炊飯器は日本製とは機能が異なるが、中国製、ヨーロッ

パ製を購入可能。

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具など

すり鉢、おろし金、菜箸、和食器はない。また包丁については和包丁(野菜包丁、出刃包丁、刺身包丁)はないので持参することを勧める。

5. 生活用品の購入



5-1 家電製品

家電製品は、炊飯器、電気ポット、ドライヤー、洗濯機、掃除機、TV、DVD再生機、冷蔵庫、電子レンジ、電気アイロン、ジューサー、ミキサー、エアコン等がスーパーマーケットやデパートで購入できる。種類もある程度そろっており、選択できる。殆どが中国、韓国、日本製、西欧からの輸入品で、故障の際、ヨルダン国内で修理できないことが多い。多少高価でもアフターケアがしっかりしていて品質保証期限のついたものを購入するのがよい。これら製品の差込端子の規格は統一していないが、どのような端子でも対応可能な変換端子が購入可能である。パソコンは現地でも購入可能だが、日本語OSはついていないので、日本語変換ソフトを持参することが必要である。

5-2 家具

アンマン市内には輸入家具を扱う店が多くある。またアンマン市内のダウンタウン周辺に家具店が集まっている地域があり、購入可能。総じて品質は高くない。

5-3 日用品、雑貨

日用消耗品はスーパーマーケットや近くの小規模な商店でたいていのものは購入可能。

5-4 工具、素材

各種工具、ネジ、釘、チェーン、鍵などを購入可能。ただし木材はあまりなく、購入するのは難しい。

6. 金融機関



6-1 金融機関

(1) 銀行

外資系、アラブ系多数の金融機関があり、都市部では自動引出機も普及している。金額によるが、US\$を現金でおろすことも容易。

口座の開設には、US\$500程度の預入が必要。ドル口座、JD口座が一般的。銀行口座開設時にはパスポートおよび事務所からのレターで開設を依頼する。

日本からの送金も特に問題ないが、受取り時に手数料がかかる。

銀行口座の閉鎖に関しては、帰国前に口座を開設している銀行で閉鎖手続きをすること。

自動引出機は都市部では普及しており、スーパーマーケットのCDMでも引出しが可能。カードでの夜間引き出しも可能である。

銀行の営業時間はアラブ系・外資系を問わず8:30～15:00で、金・土曜日は休日である。主な銀行は巻末のイエローページを参照。



(2) 両替

主要外貨(米ドル、ユーロ、円、ポンドなど)は取り扱い可能である。円から米ドル、JDなどへの換金は可能であるが、円の入手は限られる。またJDと米ドルは固定相場となっている。

銀行より市内の両替屋のほうが換金率がよい。換金証明は、請求しないともらえない。銀行、両替屋共にトラベラーズチェックは受け付けないか換金率が非常に悪くなる。また、米ドル紙幣でも100ドル札未満の小額紙幣では換金率が悪くなる場合があるので注意が必要。

6-2 クレジットカード

高級ホテル、高級レストラン、一部スーパーマーケットのみ使用可能。VISA、MASTERの通用度が高い。カードを預けるとPINコードの入力を求められることが多い。ATM機で現金を引き出すことができる。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1) 一般事情

アンマン市内をはじめ、主要都市・村落間を結ぶ道路網はかなり整備されており、ほとんど舗装されている。見通しの悪い道路、逆バンクの場所などもあるが、全体として道路はかなり整備されていると言える。しかしながら、アンマンでは町自体が急坂ばかりで、主要道路から1本内側に入ると、道路幅が狭く、路上駐車が多い。また、一方通行や行き止まりが多い。またアンマンを一步出ると羊やラクダが道路を横切ったりもする。

日本と比較するとアスファルトが滑りやすく、特に雨の降り始めは路面がツルツルになってしまい、交通事故が多発している。

鉄道についてはヒジャーズ鉄道の施設があるが、旅客輸送は一般的ではない。また南部ではヒジャーズ鉄道の路線で鉱山からリン鉱をアカバ港まで運んでいる。

各交通手段と利用上の留意事項は次のとおりである。

< タクシー >

タクシーは次の4種類に分類できる。

a) タクシー

車体は黄色で、屋根に黄色のサイン(ライト)がある。流しが一般的だが、電

話呼び出しも可能。車両は日本車、韓国車が多い。車両の状態はかなり改善されてきている。良心的なドライバーが多いが、メーターのないものや、あっても壊れている、使おうとしない、外国人や女性に対して過大請求するタクシーが時々ある。時に運転手との間でトラブルになることもあるので、注意が必要。アンマン市内は、ラジオタクシーも利用できる。車体は黄色の流しとは異なり銀色で、ラジオタクシーの呼び出し電話番号を書いた広告を記載している。どこからでも06-5799999または08-0022808で呼び出せる。ラジオタクシーは流しよりも少し割高となるが日本に比較すればどちらも安い。釣り銭を持たないタクシーがあるので(特に朝は)、あらかじめ小銭を十分用意すること。交渉次第で借り切ることもできる。また夜間は料金が2倍になる。

b) 空港タクシー

空港からアンマンまで乗せる空港専用タクシー(車体は白)である。料金は市内まで19.5JD(行く先の地域によってこれにプラスされる)。なお、アンマンから空港への客は乗せないため、この場合は通常のタクシーを利用する。黄色タクシーの場合料金はメーター制ではなく、交渉により決められる。通常15-20JD程度である。ラジオタクシーの場合はメーター制となる。

c) セルビス(乗り合いタクシー)

アンマン市内およびその近郊を結んで定まったルートを走っており、当地の人の一般的な足となっている。白い車体で、屋根に白いサイン(ライト)がある。料金はバスと同様、座席に対して支払う。支払方法は運転手に直接渡す。通常のタクシーと比較すれば格安。アラビア語がわからない、地理不案内な外国人には慣れるまで利用は難しい。また、長距離のセルビスも走っており、北・アブダリ両バスターミナルからシリアのダマスカスを結ぶ路線は在留日本人もよく利用している。

<バス>

アンマン市内および各市町村間を結んでいる。料金は乗車時に支払う。たいてい車掌が乗っている。運行ルートは決まっており、路線によるがアンマン市内ならば200フィルス程度(1JD = 1000フィルス)。基本的にバス停でとめて乗り込み、降りるときは車掌(または運転手)に降りる場所を伝える。

地方へのバスは、イルビッド、ジェラシュなどの北部へは北バスターミナルから。カラク、マアンなどの南部へは南バスターミナルから、マフラックなど北東部へはラガダンバスターミナルから出ている。出発時刻は決まっておらず、満席になったら出発するため、その時々で待ち時間が違う。

<民間の発車時間指定バス>

JETT(Jordan Express Tourist Transportation)バスはアカバや、ダマスカスなど近隣国の都市へも運行している、エアコン、トイレ付きの長距離観光バスである。予約はアブダリのジェットバスオフィス(電話:5664146、5696151)でできる。発着地は原則としてジェットバスオフィスである。

またアカバへのバスとしてはJETT以外にも数社が営業しており、Trust社は第7サークル近くのトラストバスオフィスから出ている。一方イルビッドへは北バスターミナルからヒジャージ社が運行している。

< 航空機 >

国内線は国営のロイヤル・ジョルダニアン航空 (The Royal Jordanian Airlines: RJ) がアカバへ運航している。往復70JD程度。また、ヨルダンで旅行会社を通じて団体旅行に申し込むとRJ子会社のRoyal Wingが運行する、マルカ空港から発着するチャーター便を利用することが多い。

国際線は、ロイヤル・ジョルダニアン航空が近隣アラブ諸国、欧米、北アフリカ、アジア(バンコク、デリー、コロンボ等)との間に航路を開設している。また、ヨーロッパ諸国、近隣アラブ諸国の航空会社がヨルダンへ乗り入れている。日本航空の代理店がアンマンにあるが、乗り入れはしていない。ちなみに、日本航空のエージェントは、次のとおりである。

・Nahas & Co. / King Hussein Street / 4630879、4622826 / 4629333

(2) 空港から市内への移動

< 交通手段 >

エアポートタクシー(19.5JD)、エアポートバス(1.65JD、黄色の車体)の利用が一般的。

所要時間は30分程度。市内までの距離は約30km。

(3) 自家用車を利用する場合

ヨルダンの免許証を取得する必要がある。

IDカードの取得後、日本の運転免許証からヨルダン運転免許証に切り替えることができる。郊外や空港などへ長距離ドライブする時は、車両登録証、自動車運転免許証、保険証書、IDカードなど身分を証明できるものを携帯すること。車両は右側通行、左ハンドル。右ハンドルの輸入は禁止されている。



エアポートハイウエー

アンマン市内の路面はアスファルト舗装されているが、滑りやすく、中央分離帯や車線のない道路、あってもほとんど消えている道路が多い。また、突然に穴や障害物、動物がいたりするので、慣れるまでは慎重な運転が必要である。

市内においては、一方通行の道路が多く、突如変更されたりする。道路標識は比較的整備されており、アラビア語とともに英語表示されている場合が多い。交差点はロータリーが多いが、渋滞が酷いため、立体交差や信号に切り替わりつつある。信号機は赤から青にかわる時も黄色を経由する。ロータリーがない、路幅の狭い道路の交差点は、優先道路や停止線がないため、譲り合わない車同士が衝突する事故が多発している。

地方では、高速道路でも国際空港以南には街路灯がなく、また一般地方道で

は街路灯のない所がほとんどなので、夜間走行はしないことが望ましい(JICA関係者については夜間の都市間移動は禁止)。

また、交通道徳は全く確立されていない。道路の状態および周囲の状況を見逃して猛スピードで走るのみならず、左右構わない無理な追い越し、強引な割り込みが日常茶飯事であり、注意が必要である。さらに、カーブでスピードを落とすことなく、しかも内回りをしたり、見通しの悪い交差点に一旦停止をせずに突っ込んできたりする車が多く、交通事故に遭う危険性は高い。運転中の携帯電話の利用者も多い。また左折右折時に、ウィンカーを出さない運転手が殆どである。交通事故が多発しており、車両1万台当たりの事故死者数は日本の17倍である(2007年)。当局も対策に苦慮している。したがって防衛運転が求められるが、必要以上に臆病にならず、何事があっても動じない冷静さ、細心の注意とともに大胆さも要求される。自動車の整備およびその結果はドライバーが全責任を負うことになるので、日ごろの整備と保守点検を励行すること。そして特に夏は湾岸諸国からの避暑客でアンマンは人があふれることになるが、同時にこの時期は湾岸諸国のさらに運転マナーの悪い車であふれる。

またアンマンを出ると、観光地を除き英語はほとんど通じない。

(4) レンタカーなどを利用する場合

アンマンにはレンタカー会社が多数あり、自家用車の代わりとして、また、一時的用途に利用できる。車種もドイツ車、日本車、韓国車をはじめ豊富である。料金は車種、年式、運転手の有無、利用期間、アンマン市内か地方か、などによって異なる。

(5) 手配連絡先

イエローページを参照。

(6) 道路地図

アンマン市内については縮尺2万5000分の1、ヨルダン全体については縮尺75万分の1程度の地図が、ホテルや書店などで市販されている。最近では観光振興のため、地図が充実してきている。しかし現地の人々の多くは地図を書いたり読んだりすることが苦手である。

 Yellow Page

7-2 交通事故、盗難

(1) 対処方法

事故を起こすか巻き込まれた場合は、救急車の手配、警察、加入保険会社、関係先への連絡など、日本での場合に準じて対処すればよい。

人身事故に至らない、物損のみの事故は示談で解決されることも多いが、事後を考えると、どんな場合も警察を呼んだほうがよい。また、警察が来るまでは現場を動かしてはならない。警察の現場検証は日本と異なり、彼らの直感による判断が多く、平等に両成敗もしくはお金を持っている外国人に不利というケースが多い。英語を話せる警察官は少ないため、アラビア語がわかる人物の立ち会い

が不可欠である。そうしないと一方的に相手の言い分が通ってしまう可能性が高い。即時に解決しない場合は裁判所の判断に委ねられる。

補償については加入保険会社の担当者の立ち会いも求め、相手方保険会社と交渉させることが肝要で、このためにも警察の事故調書が必要である。

交通警察電話番号： 911

(2) 救急病院



Arab Medical Centre (サークル5) など。詳細は巻末イエローページ参照のこと。

救急電話番号： 911

(3) 盗難

車両本体および物品などの盗難時には、速やかに警察へ連絡すること。あとは状況に応じて本人が判断すればよい。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

交通法規の本はあるがアラビア語版である。標識の説明がなされているアラビア語、英語併記のものはある。日本での常識の範囲内で判断していればまず問題はない。日本にない標識については経験と工夫で覚えること。

交差点ではイギリス統治時代の名残で大小のサークルがある。慣れないうちは戸惑うが、「サークル内にいる車に最優先権がある」という原則に従って走行すればよい。

近年、交通事故が多発して死亡者も多いため、交通違反の取り締まりが強化されている。高速道路ではレーダーによるスピード違反取締りが常に行われており、ダウンタウンでの駐車違反取り締まりや、シートベルト着用チェックも至る所で実施されている。

(2) 対処方法

スピード違反、駐車違反、進入禁止違反などはその場で違反チケットを切られる。後刻、本人または代理人が警察に出頭する必要がある。または車検時に罰金を支払うことになる。

7-4 車の修理

(1) 部品

特殊な部品でない限り入手可能である。

(2) 修理工場

一般的に、町中の修理工場に日本並みの技術水準は望めない。部品の交換などは問題ないが、微妙な修正や調整などは期待できない。また未然に故障を防ぐというメンテナンスの意識が薄く、動かなくなった、壊れたものを動くようにする、という考えが主流。

トヨタ、三菱、日産、ベンツ、ボルボ、ヒュンダイなどは直営の修理工場を有しており、費用は市中の一般修理工場よりかかるが、純正部品を使用し、工員教育もなされているので安心できる。

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

国内、国際ともに通信事情は良好。数は少ないが、市内に公衆電話もある。携帯電話が現在の主流。

(2) 国際電話

通話状態は良好。コレクトコールのサービスは存在するが、日本向けにはサービスされていない。日本へのダイヤル通話料は1分当たり0.595JDで、夜間(23:00～8:00)と金曜日は割引となり1分当たり0.422JDである。

(3) 携帯電話

ほぼ全国をカバーしている。現在はZain、Orange、Express、Umniahの4社が営業している。機種はNokia、Motorola、Sony Ericsonなどの機種が販売されている。契約式、プリペイド式ともにSIMカードを使うGSM方式。iPhone、Blackberryも販売されている。

プリペイド式ならば本体を持っている場合、SIMカードとプリペイドカードを購入すればその時から利用できる。

8-2 電信

(1) ファクシミリ

普及している。たいていの職場にはある。プリンター、コピー、スキャナー、FAXの一体型も購入可能。

(2) テレックス

該当情報なし。

(3) 電報

該当情報なし。

(4) インターネット

市街地や大学近辺などではインターネットカフェもかなり見かける。ADSLも普及しており、現在は512kが主流。インターネットサービスプロバイダ(ISP)は数社ある。またダイヤルアップを利用するならばプリペイド式のISPも利用することができる。アンマン市内に支店があるので、直接契約手続きを行える。契約は、クレジットカードでの料金引き落とし方式が多い。契約時にIDとパスワードを貰うので、自分で設定する。プロバイダーにテクニカルサービスの窓口担当があるので、問合せると、細かく教えてもらえる。最近は無線のインターネットサービスも一般

的になっており(Wi-tribe等)、有線の場合は使用できるようになるまで1ヶ月程度を要するが、無線の場合は1-2日程度で使用できるようになる。金額はほとんど差が無い。



ISPの詳細については巻末イエローページを参照。

8-3 郵便

(1) 一般事情

中央郵便局はダウンタウンのPrince Mohammad Streetにある。日本からの郵便物は、はがきと封書以外は検閲され課税されることが多い。EMSなどの小包は中央郵便局裏手の小包専門郵便局で受け取る。宅配制度がないので、郵便局に私書箱を開設するか、○○気付とする必要がある。

ヨルダン～日本間の航空郵便物は、到着まで通常1～2週間である。ヨルダンから日本への送付は、その逆よりも日数がかかるのが普通である。市中の郵便箱などは利用しないほうが良い。輸送途中の紛失はしばしばある。ヨルダンから発送する場合は、重要な郵便物は書留にしたほうがよい。EMS(Express Mail Service)の料金は高いが早く確実である。

郵便料金は日本に比べると安い。日本への航空郵便の場合、はがきは500フィルス、封書は1JDからとなっている。

(2) 課税

課税対象および免税範囲に関しては情報が無い。係官の裁量に任されている部分が多い。

2kg以上の郵便小包については、まず「郵便小包引取券」が郵便局から受取人に送られてくるので、これを持って中央郵便局に出向く必要がある。本人の目の前で係官が開封し、その場で課税額が決めるので、税金を支払い郵便小包を受け取る。受け取りは半日がかりの仕事になる。ヨルダンで販売されていない最新の家電製品を日本からEMSで送ったところ購入額と同等額を課税されたケースがあるので、注意を要する。

(3) 国際宅配サービス

帰国時の家財返送などはDHLの利用が多い。

9. コンピューター



9-1 ハード、ソフト

PC、周辺機器、プリンターなども現地で調達可能。Appleの代理店もある。修理については、こちらの業者はすぐにフォーマットしてしまうので、必ずデータのバックアップを取っておくべきである。外付けハードディスク、メモリーフラッシュ等もアンマンでは一般的である。また電圧が安定していないため、使用の際にはスタビライザーを使用するほうがよい。

ソフトはアラビア語もしくは英語版が入手可能。日本語版を利用したい人は日

本で購入して持参することが望ましい。また日本でブレインストールされたPCを購入し持参する場合は必ずリカバリディスクを持参すること。

10. 職場環境、勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

一般的に8:00～15:00の昼休みなし。残業はあまりない。

(2) 有給休暇

一番多い配属先で年間30日。

(3) 通勤事情

バス、セルビス、タクシー、自家用車を利用している。

11. 出入国手続き



11-1 入国

(1) 空港施設概要

クイーンアリア国際空港は1983年春にオープンし、3660mの滑走路を2本有する。アンマンの南約30kmに位置し、アンマンとは片側2車線の高速道路で結ばれている。アンマン市内からの車での所要時間は約35分である。2011年夏現在新ターミナルを建設中であり、市内と空港を結ぶエアポートロードも拡張工事中である。

空港は、道路をはさんでターミナル1と2があり、原則として、ターミナル1はロイヤル・ジョルダニアン航空、カタール航空など、ターミナル2は他の航空会社用であるが、例外もあるのでその都度確認が必要。ターミナル間は連絡通路で連結されている。

発着ゲートは日本で言う2階にある。到着したら通路を進み、入国審査の外国人用のブースに並ぶ。入国カードはない。(マルカ空港の場合、入国カードを記入する必要がある。)

その後、エスカレーターの手前で警察官が入国スタンプを確認、エスカレーターを降り、ターンテーブルから荷物を受け取り、すべての荷物をX線に通し、税関で申告物があれば申告し、到着ロビーに出る。出迎えがある場合は、この到着ロビーに出るところで待っている。

(2) 入国手続き書類

1ヶ月以内の短期滞在には入国ビザは不要。入国後3ヶ月までの観光延長ビザを取得可能。ただしその場合は指定検査機関にて血液検査を受ける必要がある。3ヶ月以上の長期滞在ビザは、在京ヨルダン大使館あるいは各地のヨルダン大使館等で取得可能。

入国のための予防接種は原則として必要ない。

(3) 入国審査

ブースはヨルダン人用、ヨルダン人以外のアラブ人用およびその他の外国人用に分かれている。入国カードはなく、パスポートのみを見せる。長期滞在者は入国後、速やかに滞在許可(Resident Permit Special)への切り替えが必要である。

(4) 税関検査

武器、麻薬、ポルノなどは持ち込み禁止である。

電化製品や大量の荷物などはチェックを受けやすい。検査の方法、厳しさなどは税関検査官によってさまざまであり、課税の判断は検査官の裁量に任せられることが多い。

(5) 空港内での留意点

空港は軍関係施設であるため、写真撮影は行わないこと。

(6) 出迎え

出迎えは通常、到着ロビーの出迎えゲートで行う。

(7) 空港からの主な交通手段

エアポートタクシーを利用するのが一般的。行き先によって運賃が決まっている。JICA事務所周辺までだと19.5JD程度。

アンマン市内(アブダリ)と空港を往復するバスが出ている。料金は1.65JD。7:00～22:00は30分おき。

11-2 出国

(1) 出国時の概要

チェックインは、各航空会社とも出発2時間前。ターミナル1はロイヤル・ジョルダニアン航空、カタール航空など、ターミナル2はほかの外国航空会社用であるが、変更されることもあるため、電光掲示板で発着ゲートを確認すること。なお、ゲート1～6がターミナル1、ゲート7～12がターミナル2である。

搭乗手続きは次のとおりである。出発ロビーの入口で、係の警察官にパスポートと航空券を提示する。ここから先は乗客しか入れない。警察官のチェックの後、X線で荷物を検査、身体検査を受ける。女性は個室で女性係官の身体検査を受ける。

その後、台上で荷物を開け再度チェックを受ける。チェックインカウンターのボードにフライトが表示されているので、自分のフライトのカウンターで手続きをする。通常は出国税(5JD)が航空券に込みとなっているが、なっていない場合は支払いが必要である。出国審査手前の警察官にパスポート、搭乗券を確認させ、出国審査を抜ければ手続き終了。なお、出国審査のブースはヨルダン人と外国人とに分かれているが、係官の指示する窓口へ行く。

エスカレーターで上のフロア(日本でいう2階)に行き、ゲート手前で金属探知機によるチェックおよびボディチェックを受け、出発30分前に搭乗となる。

免税店は充実しており、死海グッズやアラブ菓子なども購入できる。スターバックス

クス、KFC等の飲食店も24時間営業している。

(2)リコンファーム

航空会社によるが、必要な場合は直接航空会社支店に電話する(巻末イエローページを参照)。

(3)チェックイン

出発の2時間前。

(4)空港利用税

5JD。(ただし航空券に込みの場合が多い)

(5)その他の留意点

該当情報なし。

11-3 帰国手続き

(1)帰国時に必要な事務手続き

外務省発行のIDカード(身分証明書)は必ず返却すること。

(2)自家用車の処分

自家用車には車種によるが100%以上の税金がかかっている。そのため免税で購入した車を普通に売却する場合、買い手は税金を払わなければならないケースが多い。そのため免税車は関係者間で売買するか、ザルカのフリーゾーンの業者に売却することになる。

(3)家財道具の処分

ほとんどの関係者は帰国時の家財道具の送付にDHLを利用している。

(4)住宅の明け渡し

室内を入居時リノベーションした場合、明け渡し(鍵類、家具の返却)時に修繕費用、清掃費用を請求されることがある。原状回復が原則。公共料金(電気、水道、電話料金)の精算は必ず済ませること。また、家主とは明け渡し時に必ず書面で合意したことを確認すること。退去時に家主ともめるケースは多い。また、インターネット契約時にヨルダンテレコム(オレンジ)が設置したモデムも取り外して、オレンジに返却し、デポジット(預託金)を回収すること。

(5)銀行口座のクローズ

口座に残金を残すと、残高のステートメントが送付されてくるので、口座は必ず閉じておくこと。

(6)外貨持ち出し規制

該当情報なし。

12. 治安、 緊急時の心得



12-1 暴動、クーデターなど

(1)一般事情

テロについては、常に発生する可能性がある。

(2)対処法

イスラエル、アメリカ、イギリス、スペイン、イタリア権益(大使館、文化センター、当該国資本のホテルなど)には近づかない。

生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

12-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

一般治安はよいが、高級住宅街ではひったくりや空き巣が増えている。またイスラム色の強い地域や地方では女性の一人歩きは一般的ではなく、アンマンにおいても服装や行動には気をつける必要がある。

(2) 住宅の防犯対策

ドアののぞき穴、もしくは窓などから来訪者が見えるようにしておく必要がある。入居時は鍵を取り替えること。可能ならば2個以上の鍵があることが望ましい。下層階に住む場合は、必ず窓に鉄格子が入っているかどうか確認すること。

(3) 市中での防犯対策

一般治安はいいが、混雑する場所などではスリの被害も発生している。常に油断をしないように周囲に注意を払って行動することが必要。

(4) 注意すべき場所、危険地域

バスターミナルやダウンタウンなど混雑している場所には気をつける必要がある。

イラク戦争や中東戦争により、アメリカ、イギリス、イスラエル等のホテルや関連施設はテロの対象となり得るため近づかないようにする。また、軍関係施設には近づかない。

(5) 被害時の心得

実際に遭遇してしまった際は、身の安全を第一に考えること。金品の被害だけですめばそれに越したことはない。

12-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

ヨルダン渓谷周辺では100年に1回程度大きな地震が起こっているが、めったに体感地震はない。降雨量も少なく、川もほとんどないためアンマンでは洪水被害も見られない。ただし雨が降ると道路の側溝が詰まっているため道路は冠水する。

住居が石造りであり、大規模な火災は少ない。ただしストーブで使っているプロパンガスのガス漏れによる爆発、不十分な換気による一酸化炭素中毒はまれに発生している。

(2) 防災対策

テロ発生時には自宅待機になることもあり、日頃から自宅への飲料水、食料および最低限のUS\$現金の備蓄はしておくよう心がける。

(3)被災時の心得

「自分の身は自分で守る」ということを、常に忘れないように行動すること。

12-4 緊急連絡先電話番号

- ・日本大使館 962-6-5932005、5930428
- ・警察 911 盗難、置き引きなど
- ・消防 911 消防車、救急車
- ・交通警察 911 交通事故など

13. 社交



13-1 風俗習慣

ヨルダン社会の大きな特徴のひとつとして、社会活動および生活の基盤が、血縁関係に基づく家族、部族を単位として成り立っていることがあげられる。究極的には、個人よりその単位の利益が優先されるといわれている。また、家長やファミリー（一族）の長の権限は強大であり、ファミリー間の団結と協調のよさは特筆に値する。ファミリーは同一のビル内に同居している場合も多いが、独立して住んでいる場合であっても、頻繁に集まって食事、会話、ゲームなどを楽しんでいる。

また、社会生活上の行事、様式のなかに、イスラム教の影響が色濃く残り、男性中心の社会であることも特徴である。ちなみに国民の90%以上はイスラム教徒である。

アンマンは欧米文化の吸収が盛んで西欧化されつつあり、われわれ外国人が生活していても違和感はない。欧米で教育を受けた人や、他国での仕事を通じて欧米の文化になじんでいる人が多いことも関係している。

一般的にいえば、国際感覚を持ち合わせ、欧米の人たちと礼儀正しく交際できる人であれば、ヨルダンでもそのまま適応する。この国独特の風俗習慣などは、体験などを通して会得していくことである。日本国内では当然の行為が、欧米を含めてこの国では奇異に映ることもあるので、現在の自分の置かれた状況、立場、なすべきこと、してはならないことをきちんと峻別することが必要である。たとえば、一流ホテルなどで夜遅くまで小さな子供を連れて集団で大騒ぎをする、一流レストランへ遅い時間に子供連れで行く、だらしない服装でレストラン、ホテル、パーティーに出かけるなどの行為は、欧米と同様に当国でも非常識ととらえられ、厳に慎まなければならないことである。

外国人女性はイスラムの規範から除外視されるため、アラブの男性がかなり大胆に接近して来るので注意が必要である。

13-2 パーティーでの留意点

体制への批判や政治上の機微に触れる話題は避けること。

13-3 来客時の留意点

宗教上の理由から豚肉を食べない人、アルコール類やタバコをたしなまない人、同席した人がそれらの行為をするのを嫌う人もいる。一般に、イスラム教徒にはアルコール類を提供してはならない。

13-4 訪問時の留意点

訪問時にも、以下の点を含め来客時の留意点と同様の考え方でよい。訪問目的、時間などを考慮して子供を同伴できるかどうか判断する。タバコを吸う場合は同席者に断って了解を得るのが常識である。

13-5 禁止されている言動(タブー)

ヨルダンに限らず、アラブでは左手は不浄であるとされている。イスラムが厳しい地域なので、特に男女関係には注意が必要。また男性も女性も肌が見える服装は慎むべき。

ロバ、豚、犬に相当する単語は悪い意味に使われるので、不用意な使用は避けたほうがよい。また、ラマダン(断食)期間中は、日没前にヨルダン人や公衆の面前での食事や喫煙は控えたほうがよい。ラマダン期間中でもホテルなどは対象外で、飲食ができるが、日本人同士でのパーティーなどは控えたほうが良い。

13-6 日本人会

年1回の定例パーティー(春)と運動会(秋)が行われている。会員には会費が課される。日本語補習校の運営なども行っている。その他、日本大使館主催の新年賀詞交換会のサイドイベントを共催している。

13-7 JICA帰国研修員同窓会

年数回、総会が行われる他、交流プログラムが開催されている。

13-8 現地の人々との交流

まずシャイ(紅茶)やカフワ(コーヒー)を飲みながらおしゃべりすることが、何事にも大事な第一歩である。全体的にアジア人に対してはメイドのようなイメージを持っていることが多いが、日本に対しては非常にいい印象を持っており、こちらが日本人だとわかると非常に友好的である。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

教育には非常に力を入れており、幼稚園で学業の準備を始め、小中学校が一緒で10学年まであり、さらに11学年、12学年を終えてタウジーヒという大学進学

のための全国統一試験がある。その後試験の成績により、大学、短大などに進む。大学は国立が8校、私立も増えてきている。タウジーヒの成績で進学できる学部が決まるため、学生も必死で勉強をしている。

(2)日本人学校

日本人学校はないが、日本人会が日本語補習校を運営している。毎週金曜日の午前中、日本の学校教育に準拠し、国語と算数の授業を行っている。入学金は20JD、授業料が月20JDで各学期分前納。

(3)現地校、外国人学校

ほとんどの日本人はインターナショナルスクール(International Community School Amman、英国系)又はアメリカンスクールに通っている。どちらも英語で授業が行われている。年間100万円以上と学費は高額である。他に現地の私立校もある。英語を主に使う学校もあれば、アラビア語の学校もある。

(4)幼稚園

インターナショナルスクールに付属の幼稚園がある。ローカルの幼稚園もある。

14-2 教育関係施設

(1)図書館など

第1サークルと第2サークルの間に国立図書館がある。最近は洋書を取り扱う本屋がスーパーマーケットの中などに増えてきている。COZMOや BARAKA MALLの本屋は洋書が充実している。

15. 家庭の使用人



15-1 一般事情

中流以上のヨルダン人家庭ではメイドを雇うことは一般的。フィリピン人、スリランカ人、インドネシア人などのアジア人が中心。金額的には1時間あたり2~7JD+交通費とビザ取得料、里帰り交通費。住み込みだとさらに高額になる。

15-2 運転手

物価が高いため、運転手を雇うのはあまり現実的ではない。自分で運転するのに気が進まない人にはタクシーの利用をすすめる。

15-3 家政婦/夫

掃除、洗濯、ベビーシッターなどを頼むのが一般的。住み込み、複数の人間による時間雇いなど様々なケースが見られる。相場は前述のとおり。

15-4 庭師、ガードマン

庭師は一戸建てに住んだ場合、定期的に依頼したり、契約したりする。しかし

ほとんど水やりのために等しい。ガードマンについては、建物にドアマン(管理人)はいるが、ガードマンは一般的ではない。

16. メディア



16-1 新聞、雑誌

主要新聞は、アラビア語紙の「アル・ラアイ」「アル・ドストール」「アル・アラブ・アル・ヨウム」「アル・ガド」の4紙と英字紙の「ヨルダン・タイムズ」である。国営通信社としてペトラ通信がある。市内の代理店から、「ファイナンシャルタイムズ」も定期購入できる。欧米の雑誌もスーパーマーケットの書店では購入できる。

16-2 ラジオ

ラジオは、国営放送がAM、FM放送を行っているほか、近年民間FM放送局が増えてきている。

16-3 テレビ

国営のヨルダン・ラジオ・テレビ社がアラビア語3チャンネル、外国語1チャンネルを放映し、外国語チャンネルで時間帯により英、仏語で放映されている。また衛星放送受信が普及していて、CNNやBBC、AlJajila他、欧米各国、アラブ各国放送が視聴できるほか、主要ホテルではNHK国際放送(英)も視聴できる。日本語衛星放送は、JSTV(Japan Satellite Television)に入会し、デジタル受信アンテナ、デジタルデコーダーを設置すれば受信可能。

17. スポーツ、 趣味、語学学習



17-1 スポーツ

(1) ゴルフ

1箇所のみゴルフ場、および練習場がある。ただし春の一時期以外、フェアウェイに芝はない。グリーンにも芝はない。人工芝を持ってコースを回ることになる。しかし芝(草)の生えている春はボールを見つけにくい。

(2) テニス

スポーツシティやホテルのコート(オムニコート)でプレイできる。在留日本人に人気がある。

(3) フィットネス

一般的であり、多くのフィットネスクラブがある。プールについては一部クラブと高級ホテルでのみ利用可能。

(4) その他のスポーツ

スポーツシティではフットサル、スカッシュ、バスケットボールなどいろいろなスポーツが楽しめる。また空港道路沿いでは会員制で乗馬や射撃も行うことができる。近年は在留邦人の中でランニングも盛んで、春の死海マラソン、秋のアンマ

ンマラソンには多くの人が出場する。フィットネスクラブ内を中心にヨガ教室がある。

17-2 趣味

旅行、トレッキング、音楽、ダンスなどがポピュラー。

ヨルダンには古代ローマ時代の遺跡が数多く残っており、また死海やペトラなどの観光地も多い。またヨルダン渓谷の谷沿いのトレッキングはかなり楽しめる。

アラブ音楽の楽器は日本では見ることはないものであり、習ってみるのも一興である。

ベリーダンス教室もあり、習うことができる。

17-3 語学学習

(1) 語学学習施設

アンマンやアカバなどの都市部では語学学校がある。ブリティッシュカウンシルで英語、フレンチカルチャーセンターでフランス語、セルバンテスでスペイン語、孔子学院で中国語の講座も受講できる。

(2) 家庭教師

家庭教師を雇うこともできる。金額は言語によって異なる。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

詳細情報なし。

18-2 主要観光地・保養地

外国人の国内旅行への規制は特にない。

安全対策上の問題として、JICA関係者はアズラック以東への立ち入りは禁止している。

主な観光地は以下のとおり。

(1) 死海

< 交通手段 >

車両借上。アンマン市内より宿泊者向けのホテルのバスが出ている。

(2) ペトラ

< 交通手段 > 南バスターミナルからワディムサまでバス。そこからタクシー。

(3) マダバ

< 交通手段 > アンマン市内よりバス。

(4) ネボ山

< 交通手段 > マダバ市内でタクシー借上。

(5) カラク

<交通手段> 南バスターミナルからバス。

(6) ダナ

<交通手段>

車両借上。もしくは南バスターミナルからタフィーレまでバス。そこからさらにバス、もしくはタクシー借上。

(7) ワディラム

<交通手段> 車両借上。もしくはアカバまでバス。アカバからさらにバス。

(8) アカバ

<交通手段> Trust、Jettなどの民間バスが便利。

(9) ウム・カイス

<交通手段>

北バスターミナルよりイルビッドまでバス。イルビッドからさらにバス。

(10) ジェラシュ

<交通手段> 北バスターミナルよりバス。

(11) アムラ城

<交通手段> 車両借上。

18-3 旅行代理店

旅行代理店は市内に多い。国内ツアーもある。ただしほとんどがヨルダン人を対象にしており、アラビア語が必要。また外国人の場合、料金が高くなるケースも散見される。運転手付の車両の手配のみ頼むケースが多い。日本語の通じる旅行代理店もある。

19. 私財の輸送、引き取り、購入



19-1 家財道具

(1) 輸送会社

JO NIPPON EXPRESSなど現地の業者がある。

(2) 輸入手続き

アナカンの引き取りは専門業者に依頼しないと引き取りは難しい。

なお、JICA関係者の長期滞在者の場合に、免税手続きが適用になるにはIDカードが発行されていることが必要であるため、かなりの日数を必要とする。

荷物の量によっては、EMSで送り関税を支払って引き取るのが現実的である。

19-2 自動車

(1) 一般状況

かなりの台数が走っている。日本車、ドイツ車、韓国車が多い。最新モデルもたくさん走っている一方、20年前の車も走っている。

(2) 輸入手続き

左ハンドルしか認められておらず、右ハンドル車の輸入はできない。左ハンドル車を輸入する場合も手続きがかなり困難であるため、薦められない。

(3) 現地での購入

税金が車種によっては100%以上のケースもあるが、税金を支払って購入する場合は市内のディーラーや中古車取扱店で購入可能。個人での売買も一般的。

免税で購入する場合は、一般的な店では手続きを知らないことが多く、ザルカ郊外にある通称フリーゾーンで購入するか、個人間での売買となる。フリーゾーンには多くの輸入業者が店を開いており、フリーゾーン内に中古車屋がたくさんあるイメージである。

(4) 自動車登録

車検は1年に1回ある。その際に自動車保険も加入する必要がある。また違反をしていた場合、罰金の支払いも同時に行う。手続きは代行会社を通すことが確実である。

(5) 免許証取得

レンタカーは国際免許証で運転することが可能。ただし、自家用車の運転には現地の運転免許証への書き換えが必要である。書き換えには、日本の免許証に在ヨルダン日本大使館で翻訳証明をつけてもらい、マルカの陸運局で書類の手続きと視力検査を受ける。なお書き換え手続きはIDカード取得後に開始することができる。

(6) 保険、税金

民間の保険会社の保険に加入する。保険料は車種、年式、保障内容によって異なる。保険料は保障内容によりJD350～JD700程度。

20. 地方都市



新興住宅地としての色合いが強くアンマンから通勤圏のザルカ、南部の中心地であるマアン、ヨルダンで唯一港を持ち、経済特区のアカバ、近隣にQIZをかかえる北部のイルビッドなどの都市がある。

Part 3 イエローページ

特に記載がない限り、JICA事務所のある都市の情報を中心に掲載しています。

1. JICA事務所

所在地	Foutain Plaza, Abdel Rahim Hai-Mohammad Street, Sweifieh, Amman, Jordan
郵便物宛先	P.O.Box 926355, Amman 11190, Jordan
TEL/FAX	TEL:+962-6-5858921 ~ 3 FAX:+962-6-5858924
URL/E-mail	URL: http://www.iica.co.jp/jordan/index.html E-mail: id_oso_rep@iica.co.jp

2. 日本大使館

所在地	Between 5th and 6th Circles, Ibn Al-Furat Street, Zaharn Area, Basin No.21 Southern Um Uttheinah, Amman, Jordan
TEL/FAX	TEL:+962-6-5932005, 5930428 FAX:962-6-5931006

3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL:06-5932005/5930486 FAX:06-593 2165
警察	TEL: 911 *盗難、置き引きなど
消防・救急車	TEL: 911 *消防車(火事)、救急車
交通警察	TEL: 911 *交通事故の場合

4. ホテル 料金は変動が激しくその都度確認が必要。

< 5つ星ホテル >

■Le Royal	3rd Circle, Jabal Amman TEL:06-4603000 / FAX:06-4603014
■Kempinski Hotel	Shmeisani TEL:06-5200200 / FAX:06-5200219
■Le Meridien	Shmeisani TEL:06-5696511 / FAX: 06-5674261
■Crown Plaza	6th Circle TEL:06-5510001 /FAX: 06-5510003
■Four Seasons	5h Circle TEL:06-5505555 /FAX: 06-5505556
■Sheraton Hotel	5th Circle TEL:06-5934111 /FAX: 06-5934222
■Intercontinental	Between 2 nd and 3 rd Circle TEL:06-4641361 /FAX: 06-4645217
■Landmark	Between Abu Dari and 3 rd Circle TEL:06-5607100 /FAX: 06-5665160
■Bristol	5 th Circle TEL:06-5923400 /FAX: 06-5923717
■Marriot	Shmeisani TEL:06-5607607 /FAX: 06-5670100
■Grand Hvatt	3 rd Circle TEL:06-4651234 /FAX: 06-4651634
< 4つ星ホテル >	
■Century Park	Between 4 th and 5 th Circle TEL:06-5680090 /FAX: 06-5605688
■Amman Cham Hotel	Shmisani TEL:06-5659270/FAX:06-5659271

■Jerusalem	University Road TEL:06-5151121 /FAX: 06-5159328
■Geneva Hotel	7 th Circle TEL:06-5858100 / FAX:06-5858111
<3つ星ホテル>	
■Al-Waleed Hotel	Sweifieh TEL:06-5862464 / FAX:06-5864476
■Ambassador	Shmeisani TEL:06-5605161、06-5607190 / FAX: 06-5681101
<自炊のできるホテル>	
■Comfort Suite	Sweifieh TEL:06-5856184/ FAX:06-5865997
■Ameri Suite	Wadi Sakra TEL:06-5689024/ FAX:06-5689025
5.不動産会社	
■Amra Real Estate	7th Circle 06-5858563 / 06-5814094
■Abdoun Real Estate	06-5920605
6.レストラン	
<日本料理(寿司バー)>	
■BENIHANA	Shumeisani (Le Meridien内) 06-5696511
■SAMURAI	3rd Circle (Le Royal内) 06-4603000
■Vinaiquette	Shemeisani (AlQasr Hotel内) 06-5620528
■Yoshi	3 rd Circle 06-4640903
■Esaki	4 th Circle 079-7179888
<アラブ料理>	
■Kan Zaman	Al-Yadoudeh 06-4126449
■Jabri	Shmeisani 06-5688111
■Reem Al-Bawadi	Tla Al Ali (ガーデンストリート) 06-5515419
■Fakhr El-Din	Jabal Amman (2nd Circle) 06-4652399

■Zadr Kheir	Um Otheina 06-4652399
■Tannouren	Um Otheina 06-5515987
■Sultan Ibrahim	Um Otheina 06-5515987
■Faroujina	Sweifieh 06-5865244
< フランス料理 >	
■L'olivier	Abdoun 06-5929564, 06-5932922
■La Maison Verte	Shmeisani 06-5685746
< スペイン料理 >	
■Bonita	3rd Circle 06-4615060
< イタリア料理 >	
■Romero	3rd Circle 06-4644227
■La Cucina	Abdoun 06-5933344, 06-5933355
■L'Incontro	3 rd Circle(Grand Hyatt内) 06-4651234
■Grappa	2 nd Circle 06-4638212
< インド・アジア料理 >	
■Kashmir	3rd Circle 06-4659520
■Noodasia	Abdoun 06-5936999
■Indochine	3 rd Circle(Grand Hyatt内) 06-4651234
■Bukhara	3 rd Circle(Intercontinental Hotel内) 06-4641361
< 韓国料理 >	
■Korean Garden Restaurant	7th Circle 06-5816444
< 中国料理 >	
■上海 (Shanghai) 1号店	2 nd Circle 06-4619945

■上海 (Shanghai) 2号店	North Abdoun 06-5825798
■Chen's Restaurant	Al Madeena Street 06-5518214
■Pekin Restaurant	Shmeisani 06-5660250、06-5660258
■China Town (Meridien Hotel)	Shmeisani 06-5696511
■Taipei	5th Circle 06-5924670

7. 医療機関 (2011年9月現在) 最新の情報は必ず受診前に確認すること。

< 歯科医 >

■Dr. Shibly Salaita , Dr. Amal Fareh (Abdoun Medical Center)	Clinic: 06-5925697 8:00-14:00/15:30-20:00 歯科一般 (歯石除去・診察料・補てつ治療)
■Dr. Ameen S. Khraisat (Concept Center)	Clinic: 06-5822606 MB: 077-7299-390 ヨルダン大学病院勤務兼クリニック(7サークル)経営。 診察予約必須、日本語での診療可
■Dr. Haitham Khawaja (Amman Surgical Dental Center)	Clinic: 06-5926160 / 5926181 口腔外科医 (移植) 10:00 - 13:00 16:00-19:00 (木半日、金休) 救急対応可、パノラマ撮影可 6サークルからの Sweifiyeh Main Str. (Princess Alia Str.) 沿い (信号機のある Sweifiyeh 交差点30mほど) に面した左手側のビル3rd Floor. GFには薬局が入っている。
■Dr. Amjad Abu-sabba	Clinic: 06-553 2989 ガーデンストリート Yathreb Center 1階エレベーター正面。10:00 ~ 昼休み13:00 ~ 15:00 小規模な一般歯科で、親切で診療が丁寧 (根幹治療等対応可)。診療費も良心的。口腔外科が必要な際は外部医師委託。パノラマ撮影は外部医療機関で実施。
< 総合病院/専門病院: アンマン >	
■Arab Medical Centre (サークル5)	06-5921199 心臓外科医いる。予約をすれば外来で専門医に診察してもらえる。救急外来有。
■Al Khalidi Medical Centre (サークル3)	06-4644281 メディカル街の一角にあり高度医療機器を完備。救急外来有。
■Al Khalidi Medical Plaza (サークル3)	06-4644377 Al Khalidi が外来患者用に設立。各科の専門医をそろえている。予約必要。
■Istishari Hospital	06-5001000 ワディサクラ近くの新しい医療機関。
■Jordan Hospital (サークル4)	06-5620777 300床。専門クリニックが敷地内に隣接。
■Abdulhadi Eye Hospital (サークル3)	06-4627628 Al Khalidi MC のそばにある眼科専門病院
■Eye Specialty Hospital (ガーデンSt. 沿)	06-5511176 眼科専門病院。専門外来時間8:00-16:00 休日なし 救急受付有

<24時間クリニック: GP(General Practitioner)>

■IBN-AI Nafis Medical Clinic

06-5858343

7サークル、Cタウン裏通り2階建ビル2階、窓に赤新月社のマークがついている(DHL、薬局、自動車修理工場、ガソリンスタンドの道路を挟んで前のビル)。血液検査等の臨床検査は外部委託

<臨床検査>

■Al Khalidi Lab

06-5607550

Al Khalidi Medical Center 内にある検査室 24時間対応

■Arab Medical Center

Lab. 06-5921199

Arab Medical Center 内にある検査室 24時間対応

■Bio Lab (MedLabs group)

06-5920037/36

土~木7:30~20:00/金半日9:00~13:00

検体を大量に扱う為、結果の多くは翌日になる。

<地方病院>

<イルビッド>

■Rosarv Hospital

TEL: 02-7102011 FAX: 02-7100415

救急室ではオンコールDr.体制 MRIなし

郊外に位置するミッション系病院

■IBN AL-NAFIS Hospital

TEL: 02-7102100 FAX: 02-7101103

CTスキャン所有、MRIなし

市街地に近い。Ibn-AI Nafis通り沿い

<マフラック>

■Mafraq Hospital

TEL: 02-6231176 FAX: 02-6231467

政府系病院

<ワディムサ>

■Queen Rania Abdullah Ministry of Health

TEL: 03-2150628 / 638

救急外来有。ヘリポート有。2002年設立。

■Wadi Musa Modern Clinic(内科、歯科)

TEL: Clinic 03-2157443

8:00 - 13:00/17:00-22:00だが、時間外での救急対応可能

<アカバ>

■Princess Hava Military Hospital

TEL: 03-2014111 FAX 03-2014117

救急外来有。

高圧酸素治療室完備

*必要時はアンマンから空軍ヘリの手配がなされる。

*軍病院だが救急時は一般患者を受け入れている。

■Islamic Hospital

03-2018444

院長: Dr. Abdel Razaq Al Shami

救急外来有。Ammanに姉妹病院あり。

■眼科医クリニック Dr. Amer Fakhouri

TEL: 03-2022777

9:00-13:00 17:00-20:00(木曜午前のみ、金曜休み)

8. 金融機関

■Bank Audi

レバノン系銀行。JICA事務所と同一ビル内にSweifieh Branchがある。関係者が多く利用。

TEL: 06-5865432(Sweifieh Branch)

- Arab Bank
TEL: 06-5607231 アラブ系。ヨルダン最大の銀行。支店数は最多。
- HSBC(香港上海銀行)
TEL: 06-5518090 外資系。支店数は少ない。
- Jordan Kuwait Bank
TEL: 06-5688814 アラブ系。支店数は増えてきている。
- Standard Chartered Bank
TEL: 06-5607201 外資系。大都市には支店がある。
- Citibank
TEL: 06-5607201 外資系。アンマンのみ、支店なし。

9. レンタカー会社

- Hertz Rent A Car
06-5699420
- Omaish Rent A Car
06-5682582
- Europe car Rent A Car
06-5655581

10. インターネット・プロバイダー

- Orange
Jabal Amman
06-4608888
- TE-Data
Um Uthaina
06-5561686
- Umniah
Madina Munawara St.
06-5510101
- Wi-tribe
Mecca Mall (JICA事務所付近にも窓口がある)
06-5502564

11. 国際宅配サービス会社

- Jo Nippon Express
06-4646151
- TNT
06-5931977
- DHL
06-5800800

12. 教育機関

- International Community School
06-5521070 / 06-5527109

13. 語学学校

- Modern Language Center
Jabal Al-Weibdeh
06-4625582
- French Cultural Center
Jabal Al-Weibdeh
06-4612658
- British Council
Jabal Amman 1st Circle
06-4612353
- Berlitz
Shmeisani
06-5665393

14. 地方のホテル 料金は変動が激しくその都度確認が必要。

< 死海のホテル >

■Movenpick Resort & Spa

TEL:05-3561111/ FAX:05-3561122

■DeadSea Spa Hotel

05-3561001/ FAX:05-3561012

■kempinski Dead Sea

TEL:05-3568888/ FAX:06*4611154

< ベトラのホテル >

■Movenpick Hotel

03-2157111 FAX:03-2154505

■ Taybet Zaman

03-2150111 FAX:03-2150101

< アカバのホテル >

■Movenpick Resort Aqaba

TEL:03-2034020 FAX:03-2034004

■Intercontinental Aqaba

TEL:03-2090000 FAX:06-5620520

15. 旅行代理店

■Nahas Travel & Tourism

Shmeisani

4630879 / 4629333

■Eagles Travel & Tourism

king Hussein St.

4645640 / 4623806